

政治・宗教思想研究会／関西神学塾  
連続講座の案内



# 日本の精神医療は、 どうしてこうなったか

2026年11月20日（金）午後6時～8時

西宮公会堂 集会室

〒662-0834 西宮市南昭和町10-22  
0798-67-4691

の だ ま さ あ き  
**野田 正彰** 先生

参加費 500円



野田 正彰  
1944年、高知県生まれ。  
精神科医、評論家、ノンフィクション作家。  
専攻分野は比較文化精神医学。

神出病院事件や東京・八王子の滝山病院事件では精神病患者への身体拘束が問題視された。だが、薬による拘束は正当化され、患者さんたちの死を招いている。その背景に、優生保護法と同根の、精神病患者への偏見に基づく社会的排除の思想がもたらす現実がある。

それを問う枠組みは、隠蔽の上に成り立つ日本社会には存在しえない。何としても、優生保護法を過去のエピソードにしてはならない。この法を作成し推進した者の責任を問うことからしか、日本精神医学の再生はない。

野田正彰

「紙の爆弾 2026年10月号」（鹿碧社）より

主催：関西神学塾  
協力：障害児・者情報センター  
問合せ：西宮公会堂  
西宮市南昭和町 10-22  
TEL：0798-67-4691  
MAIL：koudou@gamma.ocn.ne.jp

